

視察（研修）報告書

令和4年8月5日

府中市議会議長 様

会派名又は 創生会
議員名 真田 光夫

日 時	令和4年7月20日(水) 12:30~17:00 令和4年7月21日(木) 9:25~15:00
研 修 先	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)
研 修 コ ー ス	令和4年度市町村議会議員研修 (2日間コース)
研 修 タ イ ト ル	第2回「自治体決算の基本と実践」 ～行政評価を活用した決算審査～
参 加 者	78名
研 修 内 容	<p>1日目</p> <p>講師：JIAM 客員教授・武庫川女子大学教授 金崎健太郎氏</p> <p>「自治体決算の基本と実践」</p> <p>◆自治体決算の意義と役割</p> <p>予算：翌年の行政の仕事を決めるものでとても重要。 決算；仕事を執行したか否かをみるために決算がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・自治体決算とは 議会で「決算不認定」となっても執行した収支は有効。 市長は、政治的・道義的責任を問われる。・決算までの流れ 出納整理期間（4・5月）・出納閉鎖後（5月末） 9月頃決算委員会・議会を経て認定・決算関係書類 歳入歳出事項別明細書の内容を議論する。 不能欠損額を0円にすること。 款項目節のうち、目節は必要書類を提出し流用が可能。 決算カードをしっかりとみて研究・分析すること。 <p>◆決算を用いた財政診断</p> <ul style="list-style-type: none">・財政診断に活用できる資料

出資法人等の経営状態の議会報告が重要（夕張市も問題）
類似団体別市町村財政指数表で同じ規模の自治体と比べる。

- 普通会計について
「普通会計ベースでは〇〇です。」という答弁を行政は行う。
- 実質収支～歳入と歳出の収支は合っているか～
あまり重要ではない。
- 実質収支比率
- 単年度収支、実質単年度収支
単年度の現金の実質的な過不足額を把握するもの
赤字の継続が続くようであれば財政は危険水域へ
- 財政力指数～財政面での豊かさの程度は～
稼ぐ力があると判断できる）府中市 0.47、平均：0.51
- 経常収支比率（重要）
府中市 97.7%、100%を超えると要注意。
昔は 70%台で新しいことにチャレンジできた。
- 健全化判断比率
- 実質赤字比率 府中市：+3.45%
- 連結実質赤字比率 府中市：+29.59%
- 実質公債費比率 府中市：9.6%
- 将来負担比率 府中市：73.1%
- 決算をチェック～令和2年度西宮市決算～

2日目

講師：静岡県立大学経営情報学部 教授 小西敦氏

「行政評価を活用した決算審査」

◆講義：制度

- 行政評価の基本
地方自治体の行政評価を規定する国法は存在しない。
- 評価法の目的規定（第1条）
効果的かつ効率的な行政の推進をし、国民に説明すること。
- 評価主体：内部性と外部性
政策の影響を一番受けるのは住民（議員）である。
- 政策評価の在り方（評価法第3条1項）
行政評価は自己評価なのでお手盛り評価である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・評価法と地方公共団体の評価の関係 ・政策評価導入の目的 <ul style="list-style-type: none"> ①国民に対する行政の説明責任の徹底 ②国民本位の効率的で質の高い行政の実現 ③成果重視の行政への転換 ・目的の重要性 <ul style="list-style-type: none"> 目的や活用方法を明確にすること。 何のために評価を導入するかを考ええること。 ・評価対象の政策体系におけるレベル ・政策評価の観点（評価法3条1項等参照） <ul style="list-style-type: none"> 目的：目的の妥当性、行政が行う必要性。必要性 政策：得ようとする効果と得られている効果の関係。有効性 効果：効果と費用との関係、フルコスト計算。効率性 ・KPI <ul style="list-style-type: none"> 基本目標の設定を行い、数値目標と実績を報告する。 ・EBPM <ul style="list-style-type: none"> 感染症対応として実施された地方創生臨時交付金などの地方自治体と自由度が高い予算措置について、事業の使途等の比較検証を行うこと。 ◆講義：現状 <ul style="list-style-type: none"> ・法的根拠；条例の有無 ・行政評価の根拠条例の例 ・議会基本条例と評価 <ul style="list-style-type: none"> 栗山町議会、会津若松市議会、富士市議会、武蔵野市議会 ・議会の行政評価への関与 ・議会による事務事業評価の実施状況 ・議会の総合戦略への関与 <ul style="list-style-type: none"> 府中市はどうなっているのか調べること。 ・藤枝市議会の議会改革のご紹介 <ul style="list-style-type: none"> 決算特別委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・9月議会までに事業評価の対象事業を抽出し評価する。 ・10月下旬までに市長へ次年度政策提言書を提出する。 予算特別委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・2月議会前に予算編成について説明を受ける。
--	---

- ・政策提言が予算に反映されているか審査・確認をする。

常任委員会

- ・現年度の主要施策などについて進捗状況をチェックする。
- ・6月議会では、課題や問題点を全課より聴衆する。
- ・11月議会では上半期の調書の進捗状況を求める。
- ・11月議会閉会后、分野別施策の提言を行う。

・事前質問

Q：公会計制度のメリットについて教えてください。

A：比較可能性の高さもメリット一例ではないでしょうか。

Q：決算書の特に注視する3つのポイントを教えてください。

A：例えば、「財政状況資料集」の中の「財政比較分析表」

◆討議・演習

グループ討議20班

- ・京都府木津川市議会 山本しのぶ
- ・鳥取県三朝町議会 小椋泰志
- ・熊本県山鹿市議会 永田壮拓
- ・広島県府中市議会 真田光夫

◆発表・講評

- ・議会が、行政評価を分析し成果と課題を見つけること。
- ・行政評価と議会評価が違うことが重要と考える。

◆講座・まとめ

- ・行政評価等を議員としてどう活用するかこれからの議員としての行動がとても重要だと思いました。

所 感	<p>あつという間の2日間でとても充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>そもそも、行政マンと私たちは考え方や価値に大きなズレがあると感じてはおりましたが、会計に対する基本的な考え方のズレが（単式簿記・複式簿記／現金主義会計・発生主義会計）、私たち一般人と違うのだと改めて感じました。</p> <p>そして、時間の捉え方や考え方も違うことを認識しました。だからこそ、二元代表制で住民から直接選挙で選ばれた市長・市議会議員の役割と責任はとても重く、時に市長（行政執行部）と市議会議員の対立することもあるけれど、未来を決めていく予算・決算はとても大切な仕事で失敗の許されない仕事だと改めて実感をしました。</p> <p>併せて私たち市議会議員は、事業に対して必要性・効率性・有効性等をしっかりと認識・創造して、質問をしなければならないと感じました。</p> <p>現在の府中市の財政状態は、昔の財政状態よりとても悪い状態です。そのような悪い状態にあるにも関わらず、大きな事業投資を（継続的に費用が発生する事業）行っています。このまま投資を続けていくためには、歳入をあげること。または、歳出を抑えることがとても重要だと多くの行政執行部と住民は気づいていると思います。</p> <p>問題は、優先順位だと思います。</p> <p>何が緊急で重要なことは何か？</p> <p>何が重要で何が重要でないのか？</p> <p>思い切って何を捨てるか？</p> <p>未来をどのように想像し、未来の住民のためにどのように投資を行うのが良いのかを認識・創造しなければならないと思いました。</p> <p>また、決算書に於いて、第3セクターの決算報告もしっかりと目を通しておかないと、夕張市のように破綻することもあり得ることを知りました。</p> <p>現在の財政状況を住民にどう伝えていくのが、市議会議員の役割だと思います。分かりやすい方法を用いて、老若男女すべての方にこの情報をお伝えしていこうと強く思いました。</p>
-----	---